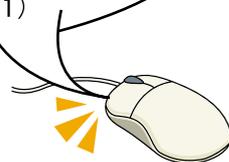


うんぜんクリック

観光物産まちづくり推進課 (☎38-3111)



雲仙の花が、来とらず!

10月24日、フローラ雲仙による花のイベント販売を行いました。

コスモスなどの雲仙の秋の花は、福岡市民にも大好評! キトラスが花に包まれた一日でした。



店頭販売の様子

ウラどおり探検隊

今回は、午前中に国見(神代)編「神代小路のまちなみと淡島神社」、午後から国見(土黒多比良)編「国見に銀座!」を実施します。ぜひ、ご参加ください。

- 各コース参加費(保険料含む)
中学生以上/500円、小学生/300円

《国見(神代)編》

日時…12月17日(土) 午前10時出発

集合場所…鍋島邸駐車場

散策所要時間…2時間程度

※散策終了後、希望者には、鍋島邸の案内(要入場料200円)も行います。

《国見(土黒多比良)編》

日時…12月17日(土) 午後2時出発

集合場所…国見文化会館

散策所要時間…2時間程度

【問い合わせ・申し込み】

雲仙市観光ガイド協会 (☎0957-78-5506)

神秘的な美しさに包まれる冬の雲仙。朝日に輝く、白銀と光の芸術をご体験ください。



今月のワンショット

雲仙の霧氷(小浜町)



【写真提供】雲仙市観光協議会(平成22年12月9日撮影)

長崎県産品
食べて飲んで贈って
キャンペーンⅢ

県産品を含むお買い物1,000円毎にスタンプ1個！
スタンプを10個集めて応募すると

**抽選で3,150名様に
市町特産品を
プレゼント!**

期間：平成23年11月1日～12月20日



長崎県産品

「食べて、飲んで、贈って」キャンペーンⅢ

11月は、県産品愛用推進月間です。

県内のスーパーなど県産品愛用推進協力店で、県産品を含むお買い物1,000円ごとに専用の応募ハガキにスタンプを1個押します。

スタンプを10個集めてご応募ください。県内21市町のおすすめ特産品(3,000円相当)が合計3,150名様(このほか「特別賞」35名様)に当たります。ぜひご応募ください。

期間：11月1日(火)～12月20日(火)

(※12月27日到着分まで有効)

2012年 うんぜん春夏秋冬カレンダー

「今月のワンショット」でも紹介している各地の風景やイベント情報などを掲載した、カレンダーを販売します。

■ 販売場所 雲仙市観光協議会 ほか
(吾妻町阿母名9-1-101)

■ 販売価格 500円

【問い合わせ】

雲仙市観光協議会(☎38-3839)

おいしい食事と
かけ流し温泉でおもてなし

【期間】平成23年11月1日～平成24年2月29日

※ただし、年末年始を除く

お一人様

◎要予約
◎5名様以上

4,500円 (税込) コース

3,500円 (税込) コース

忘新年会プラン特典

◎お酒1本またはジュース1本つき

◎入浴サービス(タオルつき)

※送迎については、ご相談に応じます。

国民宿舎 **望洋荘** ☎74-3141

◎忘新年会プラン後のご宿泊は、どのプランも

1泊朝食付 **3,000円** (税込)



※写真は、4,500円コース(鍋は5人前)
※季節により、多少料理内容が異なることがあります。

新鮮な海の幸、山の幸を存分に味わうことができ
る忘新年会プランをご用意しています。
また、自慢の温泉もおすすりめですので、この機会
にぜひご堪能ください。

忘新年会プラン

「雲仙プラン100」
発表シンポジウム開催!

日本で最初の国立公園・

雲仙天草国立公園雲仙地域は、今年で77歳。23年後には100周年を迎えることから、半島の若者たちが中心となつて、23年後の地域の将来像を描き、その実現に向けた行動計画を「雲仙プラン100」としてとりまとめました。このプランをぜひ、半島の皆さまに知ってもらうため、シンポジウムを開きます。

日時：12月11日(日)

午後1時～4時35分

場所：雲仙メモリアルホール

料金：入場無料(申込不要)

同時開催(参加募集中・要申込)

○12月10日(土)

半島モニターツアー(有料)

○12月11日(日)

半島交流ブース出展(無料)

半島大懇親会(有料)

●詳しくは、ホームページ

(<http://unzen100.org/>)を

ご覧ください。

問い合わせ・申込先

雲仙プラン100事務局

(株)メッツ研究所内)

☎0957-73-2224

市長が動く、
まちが変わる、
みんなで変える

第33・34回
移動市長室

第33回 移動市長室(吾妻町ふるさと会館)



今回のテーマは「少子高齢化とそれに伴う地域課題」。国見町から愛野町までのブロックと千々石町から南串山町までの二つのブロックに分けて開催しました。
当日は、テーマに沿って参加者の皆さんと市長が意見交換。今後皆さんからいただいたご意見を十分に検討し、市政に反映させていきたいと考えています。
今回は、主なご意見など、その概要についてお知らせします。

第33回参加者(順不同・敬称略)

坂本忠一(吾妻町)、田尻虎夫(愛野町)、宮本雅博(国見町)、前田晴男(瑞穂町)、田口加代子(吾妻町)、峯健二(愛野町)、宮崎登喜子(瑞穂町)、吉本律子(吾妻町)、林田喜子(愛野町)、竹田篤信(国見町)、中峰富男(瑞穂町)、仁禮秀樹(吾妻町)、長田京子(瑞穂町)、野田透(吾妻町)

参加者からの主な意見など

少子化については、市内で腰を据えて働ける場所が少ないことから、市外への流出へとつながっていることが原因だと思ふ。若者が市内で働けるような方策を考慮すべきだと思ふ。高齢者も働ける工夫をしてほしい。高齢者の生きがいを作り出せるような方策を行ってほしい。緊急通報装置は、外に出た場合には対応できない。何とか緊急時に対応できるような方法を考えてもらいたい。結婚対策について、今の人たちの婚活は、なかなか素人では難しいと感じるので、ぜひ、前向きに取り組んでほしい。農家の場合は、まず、「農業」というのは、こんなに魅力があるんだ」ということを、大いにアピールしないとイケない。ぜひ、市としても考えてほしい。

第34回参加者(順不同・敬称略)

古賀大八郎(千々石町)、川原辰彦(小浜町)、木村一徳(南串山町)、鈴木晴代(千々石町)、村上智恵子(南串山町)、林田貴三江(千々石町)、児島雄洋(小浜町)、金子悦子(小浜町)、池田敬介(千々石町)、西田真由美(南串山町)

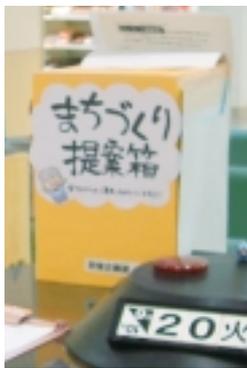
参加者からの主な意見など

婚活事業は、県や市で事業が展開されているが、その周知がどの程度されているか。一人でも多くの人が参加できる方法などを、もう一步掘り下げてほしい。各旧町の公民館というのは、人が集まり一番コミュニケーションを取りやすい場。オールマイティーの人を一人、館長みたいな立場で常駐させてもらいたい。少子化で、子どもがどんどん減る可能性がある。この先、学校の合併とかも考えているのか。婦人会の会員が減ってしまった。もっと婦人会で力を出して、地域に密着した活動をしたと思ふ。うけれども、なかなか難しい。自治会の活動から元氣を取り戻すというような夏祭りを実施してきた。自治会が参入した事で、地域が活性化してきたのではないか。

第34回 移動市長室(小浜総合支所)



ことにはつながりは出てこない。どういう所がいいのか、問題なのかなどを洗い出して、今からやること、やった方がいいことなどを、地域の中で話をしながら活動を進めたい。大雨や台風、地震などの災害の時に、独居老人にどういう対応をしたらいかがということ。今、自治会で検討している。若い人がだんだん少なくなってきた、祭りも当番制にしようという話が出ている。しめ縄の作り方などが分かる人も、少なくなっている。伝統というのがあるが、子どもがこれだけ少なくなると、自分が親の立場で考えるならば、学校が合併して一緒になった方が嬉しい。送迎とか、いろいろな問題がクリアできれば、児童や生徒の数は、やっぱり多い方がいいかなと思ふ。若い人が定住するためには、出産祝い金や医療費助成など、子育て支援にも目を向けてもらえばいいと思ふ。いきいきサロンに参加しているが、高齢者で一人暮らしの人は、買い物が一番困ると言われる。行政で、耕作放棄地対策として、草刈りなどが行われているが、その後、そのままになっている所があるので、何を作るようになったかまで確認するようにしてほしい。近所の方が去年、婚活イベントで知り合われ、結婚された。そういう機会が少ない若い人にも、行政の方からそういうチャンスを作ってもらいたい。地域の絆や、もともと存在する地域力をいかに引き出せるか、行政に期待したい。誘導ではなく、接着剤になるようなものが、何かあればいいと思ふ。これから、市民協働が必要だと思ふ。市から、住民にお金だけ出しますよではなく、ノウハウを教えてほしいと思ふ。高齢者支援は、民生委員や福祉事務所、社協など、個別に行われていて内容がよくわからないが、調整次第では、自治会も何かお手伝いできることが出てくるのではないかと考えている。



平成23年度 まちづくり提案箱

【実施結果】
生活に密着したご意見
など36件（32通）

市民の皆さんが、まちづくりに関する意見や提案を、気軽に直接市政へ届けられるよう、9月を広報月間として、市内の公共施設など27カ所に「まちづくり提案箱」を設置しました。約1カ月間に、32通（内容件数36件）の手紙をお寄せいただきました。内容は、皆さんの生活に密着しているものが多くありました。

いただいた手紙は、すべて市長が拝見し、匿名を除き、すべての人に文書で回答させていただきました。皆さんのご提案などは、市の施策や業務の改善などに役立てるとともに、市政への貴重な情報として活用させていただきます。

お寄せいただいた手紙の主な内容をお知らせします。

もっと自然を有効に活用することはできないか。

例えば、雲仙火山のエネルギーを利用した発電所、農業や漁業への利用、温泉地での自家用発電設備や温泉の癌治療を研究する先進的な施設の建設、農業や家庭廃棄物などを用いた燃料作成施設、雲仙市を訪れることで温暖化防止に貢献できることの付加価値（本市に由来する、泊まる、農作物を買った、雲仙市に関わる）などが、地球温暖化阻止やCO₂削減に貢献できるといふ証明書などを発行するなど。

（50代/男性）

雲仙市の経済財政はどうなのか？今後どういう方向性でいくのかは、意見の分かれるところであると思うので、地域版経済財政諮問会議を設立し、行政と議会と第三者である、この会議から、将来の方向性を決めていくことが重要である。もちろん、こういった仕組みづくりをすることは、とても重要だが、作った仕組みを実行するのは、結局は人である。こういった会議の設立は、仕組みづくりと人づくりの両方が生まれるのが狙いで、将来のまちづくりの一翼を担えるはずである。

（30代/男性）

小浜町は、人口に対して店舗、レジャー施設が充実していないと思う。せつかく温泉もあり、観光地であるのに、愛野町だけどもんと盛え、小浜は寂しく感じる。もっと足止めできる施設の充実をお願いしたい。商店街の活性化も考えてほしい。ターゲットは若い女性、安いテナント料。

（40代/女性）

私は温泉に行くのが好きです。若い女性は、買い物やウィンドーショッピングも好きなので、小浜にも、もう少しお店が出てくれると良いなと思う。かわいらしいランチや散歩しながら、つまめるスイーツ（湯せんぺいとか）など。もっと若い人に来てもらいたい。

（30代/女性）

小学校の体験学習の一環として、温泉の面白さ、不思議さ、楽しさを体験・体験できる1泊2日ないし2泊3日のプログラムを企画・立案し、県内の小学5年生で実施している宿泊訓練のプログラムに取り入れてもらえるように努力してほしい。

プログラムは、温泉たまごづくり、蒸し料理で夕食づくり、105mの足湯でのオリンピック、釜づくり（蒸し料理ができる）、温泉の不思議さを学ぶ科学教室、普賢岳登山、歴史で学ぶ温泉学など。

温泉の楽しさを十分に体験、体感をしていくと、各年代の折に必ず、一人で、あるいは、仲間や恋人、家族で訪れるようになる。この温泉も厳しいのは、子どもの時に、温泉の良さや素晴らしさを経験できず、大人になっても訪れる機会がなくなっていくからだと思う。早く一粒の種をまくことを、心より祈っている。

（60代/男性）

当市では、イベントや講習会がたびたび開催されているので嬉しく思っているが、高齢で独居の故、参加したい！と思う講習会にも、なかなか参加できない。

特に小浜の場合乗り継ぎが不便で、暑い日や寒い日、嵐の日などやめよう！と思うことばかり。

（男性）

講習会やイベントに、交通手段で残念に思っている者に、小型の車でも配慮いただけたらと思う。

（女性）

（9歳/男性）

6月2日の長崎新聞に記載された「長年親しんだ朝6時の時報」を拝読して、まったく同感している。特に、学生、勤務する者には、朝6時の時報は、起点として助かる。多くの人から、鳴らしてほしいとの声を聞く。

新春雲仙市中学生議会を開催！



将来のまちづくりを担う中学生が、行政への疑問などを市長に質問し、中学生らしい思いや願いをもとに、市政を熱く語ります。

日時 平成24年1月14日(土)
午前10時～正午
場所 雲仙市議会議場
参加者 市内中学校8校の生徒25人
傍聴希望者は当日、直接会場へお越しください。(席に限りがあります)
問い合わせ
学校教育課 (☎37 3113)
政策企画課 (☎38 3111)

2011年度・第44回 全国優良読書グループ表彰

市内から全国優良読書グループ

国見町の図書ボランティアグループ「おはなしのへや ぐりとぐら」(藤澤順子代表、会員14人)が、第44回全国優良読書グループの表彰を受けました。この表彰は、社団法人読書推進運動協議会が、毎年「読書週間」(10月27日～11月9日)の事業の一つとして行っているもので、各都道府県の読書推進運動協議会を通じて全国優良読書グループを表彰しています。

「おはなしのへや ぐりとぐら」は、平成11年に、地域の子どもたちのために結成され、定期的に活動しています。主な活動は、小学校や保育園、図書館などでの「読みかたり」です。

今後も、雲仙市の宝である子どもたちのために、更なるご活躍が期待されます。



「おはなしのへや ぐりとぐら」の皆さん

10月2日、第5回全日本テコンドー選手権大会西日本地区大会が行われました。雲仙市から出場した村山将人さん(雲仙市テコンドー協会会長)が、男子63kgの部で第3位となり、来年2月26日に東京都駒沢公園運動場体育館で開かれる、第5回全日本テコンドー選手権大会に出場します。



見事第3位に輝いた村山さん

全日本テコンドー選手権大会西日本地区大会
地区大会を経て全国大会へ

秋の叙勲が発表され、市内から3人が選ばれました(発令は、11月3日付)。

受章された皆さんを紹介します。

写真は、承諾をいただいた人のみ掲載しています。

旭日双光章 《地方自治功労》



荒木 榮喜さん(愛野町)
(元愛野町議会議員)

旭日双光章 《観光事業振興功労》



馬渡 孝一さん(小浜町)
(社)日本観光旅館連盟副会長)

旭日単光章 《地方自治功労》

神田 照憧さん(千々石町)
(元千々石町代表監査委員)

秋の叙勲
荒木さん、馬渡さん、神田さん
荣誉に輝く



葉隠杯 佐賀県空手道選手権

久米拳斗くん 延長の末準優勝

10月23日、佐賀市諸富文化体育館で葉隠杯佐賀県空手道選手権が行われ、九州各地から総勢341人が集い、熱戦が繰り広げられました。雲仙市からも、久米拳斗くん（南串第二小）がチャンピオンクラス小学校4年生の部に出場。決勝まで進みましたが、延長戦の末、3対2の判定で惜しくも準優勝という結果となりました。



次の大会へ意気込む久米くん(中央)

久米くんは、「12月に鹿児島県であるドラゴンカップで優勝し、来年の全日本大会に出場したいです。そのためにも、一生懸命に稽古します」と話しました。

10月21日、ハマユリックスホールで島原半島地区青年農業者連絡協議会意見発表大会が行われました。半島内から17人の青年農業者（雲仙市内から7人）が意見発表を行い、吾妻町青年農業者連絡協議会の立光真一郎さん、愛の町農友会の鶴崎正敏さん、国見町青年農業者連絡協議会の村里俊成さんの3人が、見事、優秀賞を受賞しました。

入賞した皆さんは、来年2月に開かれる県大会で、島原半島代表として発表を行います。



(左から)立光さん、鶴崎さん、村里さん

島原半島地区青年農業者連絡協議会意見発表大会
市内から3人が県大会へ進みます

10月中旬に寄付をいただいた皆さま

(承諾していただいた項目のみ掲載)

氏名(敬称略)	住所	出身地	金額
長島 恵	神奈川県	瑞穂町	30,000円

ほか、1人から寄付をいただきました

平成23年度の合計(10月末現在)

件数	17件
金額	817,000円

11月は、「千々石中学校第36回卒業生同窓会」の案内を通じて、「ふるさと納税」のお知らせをさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

「雲仙市を応援したい」、「雲仙市のために何かしたい」という想いを、ふるさと納税(寄付金)という形でお寄せいただいています。そんな想いを持たれる、雲仙市の応援者をご紹介します。

問い合わせ・申し込み

政策企画課(ふるさと応援寄付担当)
☎38-3111 FAX38-3514
<http://www.city.unzen.nagasaki.jp>

雲仙市ふるさと納税
ご寄付ありがとうございます

第1回雲仙市子育て女性懇話会

安心して子育てができるまちへ

10月26日、愛野保健福祉センターで、第1回雲仙市子育て女性懇話会が開かれ、奥村市長から委員の皆さんへ委嘱状が交付されました。

この懇話会は、広く女性から子育て支援の意見や考えを聞き、子育て支援施策への具体的な提言を求めため発足。雲仙市次世代育成支援行動計画に基づき、「すべての親が安心して子育てができ、地域全体で子どもを見守るまち」を基本理念とし、行政だけでなく、子育てにおける家庭の役割と地域、企業の役割などを分担し、市民と行政の協働を目指すものです。

懇話会では、市における子育て支援の現状について説明を受けた後、現状における意見交換を行い、



意見交換を行う懇話会のメンバー

懇話会での協議テーマなどについて話し合いが行われました。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Under the patronage of
UNESCO



世界に羽ばたく島原半島ジオパーク

島原半島ジオパークを楽しむために

世界のジオパークが島原半島に集う⑧



平成21年のGGN現地審査における雲仙小子どもガイドの様子

来年5月12日から15日まで開催される第5回ジオパーク国際ユネスコ会議では、海外からの参加者などに対して、島原半島の歴史や文化を感じてもらい、『また島原半島世界ジオパークに来てみたい』と思われるようにしていきたいと考えています。そのため、市民の皆さまにもご協力をいただき、多くの参加者に島原半島や日本の文化が体感できるような『おもてなし』を行いたいと思います。協力できるという人は、国際会議事務局までご連絡ください

い。また、国際会議をより一層盛り上げるための、さまざまなアイデアもお待ちしております。



平成19年の火山都市会議時のおもてなし行事の様子

国際会議のボランティア活動について

国際会議には、海外からたくさんの方が参加します。そこで、外国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語など）の通訳案内などに協力していただける、ボランティアを募集します。

この機会に、海外の人と交流を行

いたいという人や、島原半島を知ってもらいたいという人は、ぜひご協力をお願いします。協力できるという人は、国際会議事務局までご連絡ください。



平成19年火山都市国際会議の外国語ボランティアの様子

問い合わせ

第5回ジオパーク

国際ユネスコ会議事務局

島原市平成町1番地1

☎ 0957-64-2012

FAX 0957-73-9033



ジーオくん

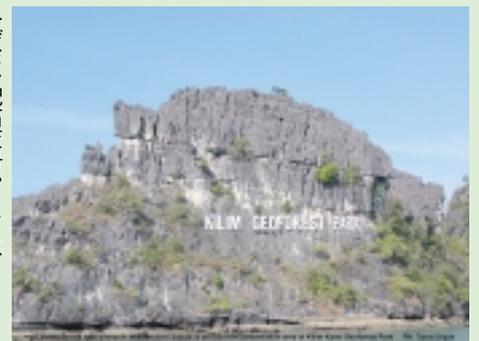
《特集》世界のジオパーク

第4回

ランカウイは、マレー半島の北西沖に浮かぶ大小合わせて99の島々からなる諸島で、現地の言葉で「Lang」は鷹、「kawi」は大理石を意味しています。ランカウイ島には、この地域で最古の砂岩で堆積構造や化石が良い状態で保存されている「マチンチャン・カンブリア紀地質の森公園」、垂直に切り立ったカルスト丘が息を呑む光景をつくっている「キリム・カルスト地質の森公園」、美しいたくさんの鍾乳洞や海食地形が見られる「ダヤン・ブンティング大理石地質の森公園」の3つの地質公園があります。これら以外にも、地質学上重要な非常に素晴らしい地形などが地質記念物に指定されています。

→デボン紀石灰岩からなる、キリム・カルスト地質の森公園

マレーシア／ランカウイジオパーク Langkawi Geopark





剣道競技教員男子で優勝!

～特集～
昭和44年
長崎国体の
思い出

(第6回)



くぼ いくし
久保 彥是さん (愛野町・68歳)

昭和44年に開催された第24回長崎国体の剣道競技教員男子の部に、愛野町の久保彥是さんが次鋒として出場。決勝戦を5対0と圧倒的な強さで制し、優勝という素晴らしい成績をおさめられました。

当時は、国体3年前から本番まで合宿が行われ、一日中厳しい稽古だったとのこと。その稽古のおかげで、当時は一切負ける気がしなかったそうです。

国体後は、教員として教鞭を執る一方、剣道競技の指導者として、何人もの全国優勝者を輩出されました。

久保さんは現在、JICA (ジャイカ:国際協力機構)の事業の一環として、トルコやウルグアイなど、世界各地での剣道競技の普及や指導などの活動に、奥さまとともにご尽力されています。

「長崎がんばらば国体を応援しています」と、心強いお言葉もいただきました。

長崎がんばらば国体 2014

問 国体準備室 (☎37-3113)

■雲仙市開催種目■

サッカー (少年男子)、ボクシング (全種目)

■デモンストレーション行事■

雲仙アヅマクロス

保健師

マ×子の

知って得する

健康まめ知識 その8

問 健康づくり課 (☎38-3111)

健康推進員

健康うんぜん21を推進します (毎月19日は、食育の日です)

世界エイズデーとは…

WHO (世界保健機構)は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と、エイズ患者やHIV感染者に対する差別や偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を「世界エイズデー」と決めました。エイズのまん延防止や差別・偏見の解消のために、ひとりひとりに何ができるのかをみんなで考えましょう。

エイズ (AIDS: 後天性免疫不全症候群)

現在、全世界でのHIV感染者は5千万人に達すると言われていています。日本では、1983年に初めてエイズ患者が確認されました。エイズは、HIVウイルスの感染により発症します。このウイルスは、通常環境では非常に弱いウイルスで、普通の社会生活を送っている場合は、感染者と暮らしたとしても感染することはありません。

【主な感染経路】性的感染、血液感染、母子感染

【検査機関】全国の保健所で、匿名・無料で検査できます。(要予約)

2011 世界エイズデー キャンペーンテーマ

エイズとわたし ～支えることと防ぐこと～

エイズの原因となるHIVというウイルスに感染しても仕事をやめることはないし、生活も続けられます。治療の進歩は、安心して検査を受けられる条件を整え、予防対策にも貢献しています。エイズに取り組み続け沢山の人がいてここまで来ました。社会の理解が広がり、関心を持つ人が増える。治療も予防も、そのことに支えられています。



レッドリボン
エイズ患者への偏見や差別をなくし、理解と支援をするためのシンボルマークです。

男女が互いを認め合い、尊重し、協力しあうまち 雲仙市

はびねす通信

Vol.45




List #003
雲仙市商工会女性部
 （草野 有美子 部長）

ようこそ！雲仙市へ



ジヤガイモとブロッコリーを持った夫婦、そして、「幸せ入場券」。皆さんはこの顔出し看板（記念撮影パネル）を、もうご覧になりましたか？

これは、11月26日に行われた「愛の聖地プロジェクト」で愛野駅と吾妻駅に設置され

たもので、これを企画したのが「雲仙市商工会女性部」です。清水ヤエ子・大津トミ子 両副部長に、この楽しい企画の意図を尋ねると、『愛の聖地に、愛を育みに来た人へ』ようこそ！雲仙市へ』との思いを込めて作ったものですよ。事前に両駅の清掃活動とロマンスフェアの塗替えもしました』とのこと。また、商工会青年部と共同で作成した「愛の聖地巡礼マップ」を横浜で配布するなど、精力的なPR活動も。

明るく元気で美しく！

女性部から雲仙市を盛り上げていきたい、という思いの部員を、「明るく元気で美しく！」と笑顔で牽引されるのが、草野有美子部長です。そんな女性部は、視察研修受入や地域情報紙「ぐるぐるマップ」の作成に携わるなど、市の活性化につながる活動を展開されています。平成21年には、若



みんなで初☆アヅマクロス大会（たんぼぼ会）

雲仙市商工会女性部
 雲仙市商工会会員やその親族などの女性で構成。部員数は約330人。

〈主な活動〉
 研修会、ボランティア活動（独居老人食事サービス）、地域イベント協力、環境美化運動、親睦会

手女性部員による「たんぼぼ会」を結成。新規部員の加入環境を整備し、部員増強数は全国で2位になりました。

また、たんぼぼ会を中心に、環境美化活動として空き缶回収を毎月行い、その利益を活動の財源とするなど、活動の随所に女性ならではの工夫がうかがえます。来月には「美しく！」のためのメイクアップ講習会も予定されており、これからもその活動に注目目です。

男女共同参画 庁内推進会議

雲仙市の男女共同参画施策を市役所で横断的に進めるために、「雲仙市男女共同参画庁内推進会議（会長・奥村市長）」が、10月26日に行われました。



会議では、雲仙市のまちづくりに男性も女性も意見を出し合える環境づくりのため、女性委員の登用を推進していく方策を協議し、目標に向けて取り組んでいくことが確認されました。

AOGU活動講演会
 吾妻町の永田鉄工株式会社（永田克己代表取締役）では、会社全体で働き方を見直



し、改善していく独自活動「AOGU（※活動）」の中で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」に取り組まれています。

この取り組みが評判を呼び、10月26日に長与町で開催された「長崎県男女共同参画地域活性化事業」のセミナーに、専務取締役の永田孝範さんが講師として招かれ、講演会が行われました。

永田さんは、社員の石井竜太さんとともにノー残業デーや誕生日の休暇制度、親睦・慰労の取組（社員旅行・川柳大会）などを紹介し、講演終了後は、参加者から質問攻めになるほどの反響がありました。

（※）AOGU（あおぐ）…A（明るく）、O（面白く）、GU（Grow Up…成長する）の頭文字による、会社独自のネーミング

困ったときは…

雲仙市消費生活センター
からのお知らせ

早めに、ご相談を。

ライフサポートホットライン

(消費生活センター直通電話) なやみゼロ

☎ 0957-38-7830



新成人をねらう悪質商法にご用心!

成人すると、大人として認められますが、その一方で、悪質業者にねらわれるようになります。未成年者は、社会的に未熟であるという理由で法的に保護され、親(法定代理人)の同意がない契約は取り消すことができました。

しかし、20歳になると、成人として契約に責任を持つことになり、一方的に取り消すことはできません。悪質業者は、契約について知識と経験が少ない新成人をねらっています。20歳になった途端、知らない人から電話があったり、ダイレクトメールが届いたりするようになります。よくあるトラブルの事例を紹介しましょう。

◆デイト商法

アポイントメント商法

「アンケートに答えて」という電話がきっかけで、異性の店員と親しくなった。「お店に遊びに来てほしい」と言われ、購入した。

その後何度か宝石をすすめられて購入してしまい、解約したいと伝えると、相手と連絡がとれなくなった。

◆キャッチセールス

街中で「エステの無料体験をしませんか」と声をかけられ、店へ案内された。

そこで商品やエステなどの勧誘を長時間され、契約しないと帰れない雰囲気。結局、断りきれずに契約してしまつた。

◆マルチ商法

(ネットワークビジネス)

友人に、「紹介したい人がいる」と誘われ、喫茶店に行つた。ネットワークビジネスの勧誘で、「健康食品などの商品を買って入会し、友達を入会させると紹介料が入る。その友達がいかに誰かを入会させれば、勝手に紹介料が入ってくる仕組みだ」とすすめられた。

すぐに元がとれるから大丈夫と言われ、紹介されたサラ金の学生ローンでお金を借りて入会した。しかし、友人の勧誘もうまくいかず、結局ローンだけが残ってしまった。



「ネズミ講ではない」と言われたのだが、実はマルチ商法だった。

《アドバイス》

○個人情報をお教えるときは慎重に!

○知らない人からの電話による呼び出し、街中での声かけに応じない。

○契約する時は、契約内容、解約方法など、きちんと確認する。

○その場ですぐに契約せず、商品・サービスについて調べたり、家族や友人に相談してからにする。

○安易なクレジット、ローンは禁物。お金に関する正しい知識を身につけましょう。

平成24年用 新生活門松カード

長崎県新生活運動協議会では、「くらしの簡素化」や「省資源・ゴミの減量化」のために新生活門松カードを頒布しています。このカードは、昭和32年に松などの保護のために始まり、現在は環境にやさしい再生紙を利用した門松カードとなっています。多くの皆さまのご利用をお願いします。

●価格…1組(2枚)50円 平成23年用(見本)

●購入方法…市消費生活センターおよび各総合支所市民生活課にて購入できます。自治会など、各種団体でもまとめて購入することもできます。(ただし、在庫数により即日受け渡しができない場合があります)

●申込期限…12月20日(火)

【問い合わせ】

市消費生活センター(☎38-7830)



無料司法書士相談会

主催：雲仙市、長崎県青年司法書士協議会

司法書士による無料相談会を行います。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。(予約不要)

日時 12月10日(土) 午前10時～午後3時

場所 愛野町公民館

☎ 雲仙市消費生活センター(☎38-7830)

上記の商法は、すべてクーリング・オフの対象になります。困ったときは、消費生活センターへ相談しましょう。